授業科目	こどもの理解と援助（AB クラス）					単位	1
履　　修	選択	関連資格	保育士			ナンバリング	CH31303J
開講年次	2	開講時期	前期	該当DP	DP1-2 DP2-1		
担当教員	阿南　寿美子						
授業概要	保育者が子どもにとって質の高い保育を行うためには、一人一人にふさわしい援助の在り方について理解を深めておくことが不可欠である。本講座では、「保育の心理学」や他の授業で学んだ子どもの発達を踏まえつつ、子どもの生活や遊びへの援助に関わる事例を紹介しながら、より実践的に保育を展開するための基本事項について、グループワークを取り入れながら解説を行う。						
学生が達成すべき行動目標	・様々な学習の形態や概念及びその過程を説明する代表的理論の基礎を理解している。 ・主体的学習を支える動機づけ・集団づくり・評価の在り方について、発達の特徴と関連付けて理解している。 ・幼児、児童及び生徒の心身の発達を踏まえ、主体的な学習活動を支える指導の基礎となる考え方を理解している。 ・保育実践において、実態に応じた子ども一人一人の心身の発達や学びを把握することの意義について理解する。 ・子どもの経験や学習過程において、子どもを理解する上での基本的な考え方を理解する。 ・子どもを理解するための具体的な方法を理解する。 ・子どもの理解に基づく保育者の援助や態度の基本について理解する。						

達成度評価

評価と評価割合／評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	0	50	0	30	20	100	
知識・理解（DP1-1）								
知識・理解（DP1-2）			25			10	35	
知識・理解（DP1-3）								
知識・理解（DP1-4）								
思考・判断（DP2-1）			25		30	10	65	
思考・判断（DP2-2）								
関心・意欲（DP3-1）								
関心・意欲（DP3-2）								
態度(DP4-1)								
態度(DP4-2)								
態度（DP4-3）								
技能・表現（DP5-1）								
技能・表現（DP5-2）								
技能・表現（DP5-3）								

具体的な達成の目安

理想的レベル	標準的なレベル
子どもの意欲を引き出すための働きかけについて考え、行動することができる。個々の子どもの特性を踏まえて、どのように援助すればよいか考えることができる。	個々の子どもの課題や特性に応じた援助や関わりについて説明することができる。

授業計画

進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	予習・復習時間(分)
1	オリエンテーション 主体的な学びを支えるための保育者のあり方について理解する。	講義 遠隔授業	授業の内容について振り返りを行う。	15
2	保育実践における評価の意義及び保育現場における評価の在り方について理解する。	講義 遠隔授業	授業内容をノートにまとめ、理解を深める。	20
3	子ども理解の方法について理解する。	講義 遠隔授業	授業内容をノートにまとめ、理解を深める。	20
4	生活及び遊びの中での学びを促すための保育者の援助について理解する。	講義 遠隔授業	授業内容をノートにまとめ、理解を深める。	20
5	子どもの健やかな成長・発達を支える環境としての保育者の役割について理解する。	講義 遠隔授業	授業内容をノートにまとめ、理解を深める。	20
6	子どもの主体性を育む保育−動機づけのあり方について理解する。	講義 遠隔授業	授業内容をノートにまとめ、理解を深める。	20
7	学びを促すための保育者の援助 学ぶ意欲と原因帰属についての原理を学び、保育者の援助の必要性について理解する。	講義及びグループワーク 遠隔授業	授業内容をノートにまとめ、理解を深める。	20
8	学びを促すための保育者の援助2 条件づけの学習理論と保育者の援助について理解する。	講義及びグループワーク 遠隔授業	授業内容をノートにまとめ、理解を深める。	20
9	生活及び遊びを促す環境 子どもの意欲を引き出す環境について理解する。	講義及びグループワーク 遠隔授業	授業内容をノートにまとめ、理解を深める。	
10	子どもの協同性を育む保育：自己主張と自己統制、個と集団の関係性 遊びの中で育まれる仲間関係について理解する。	講義及びグループワーク 遠隔授業	授業内容をノートにまとめ、理解を深める。	20
11	多様な子どもの援助についての事例考察を検討する。 心に寄り添う絵本（心のケアと絵本の可能性）	講義及びグループワーク 遠隔授業	授業内容をノートにまとめ、理解を深める。	30
12	遊びを豊かにする保育者の援助① さまざまな保育場面における事例について考察を行う。	講義及びグループワーク 遠隔授業	授業内容をノートにまとめ、理解を深める。 実習の振り返りを行っておく。	30
13	遊びを豊かにする保育者の援助② さまざまな事例検討を通して、子ども理解の必要性と保育者の援助について理解を深める。	講義及びグループワーク 遠隔授業	授業内容をノートにまとめ、理解を深める。 実習の振り返りを行っておく。	30
14	遊びを豊かに展開するための保育者の援助のあり方について理解する。 まとめと振り返りを行う。	講義及び振り返り 遠隔授業	授業内容をノートにまとめ、理解を深める。 授業内容について振り返りを行っておく。	60
15				
16				
17				
18				
19				
20				

21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				

理解に必要な予備知識や技能	「保育の心理学」や他の授業で学んだ知識を振り返るとともに、自主実習や「教育実習」、「保育所実習」での体験をもとに子どもの発達の様子を確認しておいてください。
テキスト	特に使用しない。授業中にレジュメやスライド資料等を配布する。
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領（平成 29 年告示） 子どもの心の育ちをエピソードで描く（鯨岡峻、ミネルヴァ書房） 乳児期の発達と生活・あそび（長瀬美子、ちいさいなかま社） 幼児期の発達と生活・あそび（長瀬美子、ちいさいなかま社） ごっこ遊び（河崎道夫、ひとなる書房） 「遊びの保育」の必須アイテム（加用文男、ひとなる書房）
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	この科目は様々な授業や実習で学んだこと全てが関連します。それを踏まえて、乳幼児期の保育がどのように展開されるのが望ましいか意識しながら授業に臨んでください。また、グループワークと発表を取り入れながら授業を進めていきますので、積極的な参加を期待しています。
達成度評価に関するコメント	レポート及び提出課題の作成については、授業の中で指示します。 また、その他の評価では、授業時の態度、積極的なグループワークへの参加・発言などについて評価します。